

和食～日本の自然、人々の知恵～

2025年**4月26日**④－**7月6日**⑥

2013年にユネスコ無形文化遺産に登録されて以降、世界中で注目の高まる和食を、バラエティ豊かな標本や資料とともに、科学や歴史などの多角的な視点から紹介します。日本列島の多岐にわたる自然が育んだ多様な食材、人々の知恵や工夫が生み出した技術、歴史の変遷、そして未来まで。身近なようで意外と知らない和食の魅力に迫ります。



足利将軍御膳再現模型
京都文化博物館蔵

アニメ「鬼滅の刃」全集中展 ―刀鍛冶の里編・柱稽古編―

2025年**7月18日**⑤－**8月17日**⑥

全世界を席卷し、2020年には日本の映画興行売上の金字塔を打ち立てたアニメ「鬼滅の刃」。今回「全集中展」第3弾として、「刀鍛冶の里編・柱稽古編」に焦点を当てた展覧会を開催します。映像や展示を通して、「刀鍛冶の里編・柱稽古編」を振り返り、作品内容を体感できる展示空間をお楽しみいただきます。



©吾峠呼世晴／集英社・
アニプレックス・
ufotable

青の祓魔師展 エクソシスト

2025年**8月19日**⑦－**9月15日**⑧・⑨

2009年4月より月刊コミック誌「ジャンプスクエア」で連載が始まり、現在も同誌にて連載中の加藤和恵によるファンタジー漫画。シリーズ累計2500万部を超え、2011年4月には初のアニメ化。その後も新たなTVシリーズが制作され、映画、舞台、ゲームなどのメディアミックスも展開されています。2024年に連載15周年を迎えた「青の祓魔師」の世界をご堪能ください。

©加藤和恵／集英社



創立80周年記念 京都工芸美術作家協会展 煌 ―KOGEI・つながる未来―

2025年**8月30日**④－**9月15日**⑧・⑨

創立80周年を記念し、京都の主な工芸美術作家の創造的な作品を、広く紹介する展覧会を開催します。京都工芸美術作家協会は、昭和21年創立の京都を代表する作家団体であり、分野を超えて多くの会員が所属しています。今回は「煌(きらめき) ―KOGEI・つながる未来―」をテーマとし、工芸美術の普遍的な価値を世界の人々と共有し、未来社会に繋げていきます。



羽田登《花吹雪》2023年
個人蔵

世界遺産 縄文

2025年**10月4日**④－**11月30日**⑥

2021年に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」。この地域には、特別史跡三内丸山遺跡や大湯環状列石をはじめ、数多くの縄文遺跡があります。本展では、世界に誇る縄文文化と豊かな自然環境のもとで一万年以上続いた持続可能な縄文社会について、出土した土偶や装飾品を中心に、縄文人の豊かな暮らし・精神性を考えます。



重要文化財 遮光器土偶
文化庁蔵(岩手県立博物館保管)

Kyoto Art for Tomorrow 2026 ―京都府新鋭選抜展―

2026年**1月10日**④－**1月25日**⑥

京都ゆかりの新進作家による卓抜した創造性、技術を備えた作品を紹介します。

アイヌの美―彩りと輝き―

2026年**1月31日**④－**3月19日**⑥

北海道を中心にカラフトから千島列島まで生活圏を広げていたアイヌは、交易や交流を行う中で独自の文化を発展させました。本展では、装飾性豊かな衣服や装身具、ゴザ、木に金属や鹿角などを組み合わせた儀礼用太刀、儀礼用矢筈などを紹介します。また、彩りと煌めきあふれる現代作家の作品も併せて紹介します。



チカップ美恵子《フレベンナ/虹の歌》
個人蔵

	2025	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2026	1	2	3
4F								青の祓魔師展				京都府新鋭選抜展		
3F			和食～日本の自然、人々の知恵～			「鬼滅の刃」全集中展	京都工芸美術作家協会展		世界遺産 縄文				アイヌの美―彩りと輝き―	
2F		令和7年 新指定 国宝・重要文化財		ガラスの丹後王国の世界		池大雅展 大雅からのたより	今井憲一 ―幻想とリアルのあわい		未来へのおくりもの 京都府×京都市指定文化財					

2階 総合展示室

令和7年 新指定 国宝・重要文化財

2025年**4月19日**④－**5月11日**⑥

文化庁の京都移転を契機に 京都で初開催！

我が国にある絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料などの有形文化財のうち、歴史上または芸術上重要なものを、かけがえのない国民の財産として後世に伝えるため、新たに国宝・重要文化財に指定される美術工芸品等の一部を紹介いたします。



治道 国宝 木造伎楽面 東京国立博物館蔵
出典：ColBase (https://colbase.nich.go.jp/)

カ士

ガラスの丹後王国の世界

2025年**5月17日**④－**7月13日**⑥

京都府北部・丹後地域で弥生時代に華開いた卓越したガラスの世界。古代の人々が抱いたガラスへの憧れと美意識を感じていただきます。



左坂墳墓群出土ガラス小玉
京都府立丹後郷土資料館蔵

祇園祭 ―山鉦巡行の歴史と文化―

2025年**5月17日**④－**7月21日**⑧・⑨

京都の夏を彩る祇園祭の山鉦巡行について、その歴史や文化を紹介します。

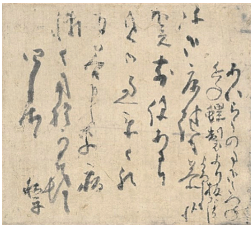


鶏鉦後懸
(メダリオン中東蓮花葉文様・インド模織絨毯)
17世紀後半 公益財団法人鶏鉦保存会蔵

池大雅展 大雅からのたより

2025年**7月19日**④－**9月21日**⑥

池大雅(1723-1776)は、近世日本の文人画を代表する一人です。本展示では、池大雅美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する書画および関連資料の数々をご紹介します。



池大雅「あさり貝礼状」
池大雅美術館コレクション

今井憲一 幻想とリアルのあわい

2025年**7月26日**④－**9月21日**⑥

京都を拠点に油彩画を探索し続けた画家・今井憲一(1907-1988)。シュルレアリスムの画風で知られる今井の、幻想と現実の間を漂う世界をご覧ください。



今井憲一《原生林》1938年
京都市美術館蔵

未来へのおくりもの

京都府×京都市指定文化財

2025年**9月27日**④－
11月24日⑧・⑨(振休)

京都文化博物館に京都府・京都市の至宝が大集合!!

本展は、近年、京都府・京都市が指定した文化財や修理が行われた文化財を選んで展示し、歴史的・文化史的な価値を伝えるとともに、その文化財に宿った所蔵者の思い、修理者の思いを伝えることを目的としています。未来に残すべき「おくりもの」としての文化財の姿をぜひともご覧ください。

2階総合展示室 「京の歴史」が リニューアル！

平安京の正門、羅城門。その姿は失われても、人々の記憶には残り続けました。今、悠久の時を越えてプロジェクションマッピングで甦ります。

京都の夏の風物詩、鴨川の納涼で楽しむ人々や三条大橋などの往來の場を中心に、江戸時代の日々の暮らしぶりを動くアニメーションで生き生きと紹介します！



※イメージ



鴨川納涼図屏風(部分) 江戸時代後期